

1. PIANCWG145（船舶の接岸速度及び防舷材の設計）の第三回 WG が 2011 年 11 月 22～23 日に開催された。第一日目は PIANC 本部で 1300～1700、二日目も PIANC 本部で 900～1400 に議事を行った。参加者は 14 名で、日本（3 名）、ドイツ（3 名）、ノルウェー（2 名）、オランダ（3 名）、アメリカ（2 名）、フランス（1 名）であった。表はメンバー構成及び出席状況である。

第 3 回

	政府 港湾管理者	学識経験者 大学等	防舷材メーカー コンサルタント	建設コンサルタ ント、建設会社	
日本	<i>YP</i>	<i>M</i>	<i>M</i>		3 (<i>3</i>)
イギリス			M, M(AL), CR		3 (0)
フランス			AL	<i>M</i>	2 (<i>1</i>)
オーストラリア				M, CR	2 (0)
アメリカ				<i>YP, M(AL)</i>	2 (<i>2</i>)
ドイツ				<i>M, AL, YP</i>	3 (<i>3</i>)
ベルギー	YP			M	2 (0)
オランダ	<i>YP, MarCom</i>		<i>AL</i>	<i>M</i>	4 (<i>3</i>)
ノルウェー		<i>M</i>		<i>M</i>	2 (<i>2</i>)
スペイン				M, AL	2 (0)
	4 (<i>3</i>)	2 (<i>2</i>)	6 (<i>3</i>)	12 (<i>5</i>)	24 (<i>14</i>)

M：メンバー、 YP：ヤングプロフェッショナル、 CR：通信メンバー、 AL：代理メンバー
() 出席者：斜体

2. 議事概要

1) 各国の進捗状況 WG145 3rd meeting Nov. 22-23. 2011

- ① 日本；国土交通省による船舶接岸速度調査の概要を上田が説明した。アンケート調査（第一段階では、193 施設に調査票を配布し、119 施設から回答を得、うち 68 バースが接岸速度を計測している。アンケート調査（第二段階では、30 バースから計測データ提供の申し出があり、現在データ収集中であることを報告した）
- ② ドイツ；ブレメルハーヘン港のデータについて Hein 氏から紹介があった。データを日本に送付していただく。
- ③ アメリカ；日本の調査を参考にして主要バースでの接岸速度調査を行う方針が示された。
- ④ オランダ；ロッテルダム港で実施している接岸速度測定について概要が説明された。接岸速度、接岸角度ともかなり小さな値である。

- ⑤ イギリス ; Mike Harrison が接岸速度計について取りまとめた資料を送付している (欠席)。
- ⑥ スペイン ; Ossa 氏から接岸速度実測の概要が資料として提示された (欠席)。

2) 報告書の草稿の議論

以下の項目について順次説明され、質疑応答した。

- ① Preface ; 防舷材に関する PIANC、NATO などの研究の概要の記述 ; コメントを求める。
- ② Members ; メンバーリストの改訂
- ③ Terms of Reference
- ④ Role of fenders at berth ; 未定稿 ; 日本が原稿作成
- ⑤ Ship's Berthing Energy and Fender Design ; 日本が信頼性理論に基づく設計法を提示し、同時に防衝設備の安全性について、従来の異常接岸係数などの安全係数との関係について説明した。また、フランスから、仮想質量係数の流体力学的計算結果が示された。アンダーキールクリアランスの影響が考慮されている。注) 日本の既往研究と比較し検討する。
- ⑥ Ship's berthing speed ; 日本から既往の接岸速度データの紹介がなされた。のちに⑧の接岸速度計測と合併する方向
- ⑦ Measuring way of berthing speed ; Mike から資料提示
- ⑧ Collection of site data and use for design ; オランダからロッテルダム港での計測について概要が示された。日本から、接岸速度のアンケート調査を行っていること、南アジアにおける計測を実施中であることを報告した。
- ⑨ Reliability Design of fender system ; 日本から信頼性設計について説明した。
⑤に関係するので、最終報告では目次の位置づけを再考する。
- ⑩ Berthing Simulation ; 議論無し
- ⑪ Other items for fender design
 - Added mass
 - Under keel clearance
 - Abnormal factor or Safety factor
 - Berthing angle上記項目について、⑤、⑥、⑧の項目で議論した。

2. Alternation of List of Contents ; 上記の内容で微調整
3. Next Meeting ; 次回は2012年4月25-26日、ドイツ連邦共和国ブレメルハーヘン港で行う。
4. 今後の予定
 - ① 1月下旬または2月上旬, ノルウェーで Carl Thoresen Nyvoll と打ち合わせ
 - ② 4月25-26 BremerHaven で第4回会議
 - ③ 9月にヨーロッパのどこかで第5回会議
 - ④ 11月に日本で第6回会議
 - ⑤ 編集会議 ; ヨーロッパで主要メンバーによる協議
 - ⑥ 報告書提出
 - ⑦ MarComからのコメントに対応 ; メールおよび主要メンバーによる協議

以上

参考

PIANC MarCom-Working Group 145
List of participants at Meeting

"Berthing velocities and fender design"

		Brussels Belgium 2010 11 29	Brussels Belgium 2010 11 30	Brussels Belgium 2011 3 16	Antwarpen Belgium 2011 3 17	Brussels Belgium 2011 11 22	Brussels Belgium 2011 11 23
Member		Present	Present	Present	Present	Present	Present
1	Shigeru Ueda	JPN	○	○	○	○	○
2	Mike Harrison	UK	○	○	○	○	
3	Pierre Francois Demenet	FRN	○	○	○	○	-
4	Jacques Faily	FRN	○	○			
5	Steave Buchanan	AUT					
6	Seigi Yamase	JPN			-	-	○
7	Elizabeth C. Burkhart	USA					○
8	Kecin Matakis	USA					○
9	Christopher J Forgan	UK	○	○		○(behalf)	-
10	Ollero Juan	DEU					○
11	Christian Hein	DEU			○	○	○
12	Tom van Autgaerden	BEL	○	○	○	○	-
13	Leon Groenewegen	NLD	○	○	○	○	○
14	A. Roubos	NLD	○	○	○	○	○
15	Marco Gaal	NLD	○	○	○	○	○
16	Carl August Thoresen	NOR			○	○	○
17	Svein Ove Nyvoll	NOR			○	○	○
18	Patrick Friede	DEU	○	○			○
19	Joep Wiffels	NLD	○	○			
20	Elena Roderiques La Ossa	ESP	○	○	○	○	-
21	Ignacio Trejo Vargas	ESP					
22	Mark Fowler	UK	○	○			
23	Kazuya Narukawa	JPN	○	○	○	○	○
24	A. van der Weck	NLD	○	○			